

T-TRASTE（研修履歴ファイル）の活用法

T-TRASTE（研修履歴ファイル）とは？

「かごしま教員育成指標」に基づき、総合教育センターで開発した、研修履歴を記録するエクセルファイルです。

※「T-TRASTE（ティートラスト）」という名称は、Teacher's（教師の）Training（研修の）Steps（歩み）の最初の文字を組み合わせて構成したものです。

T-TRASTEの活用法

「今の自分に必要な資質は、今後、私はどのような資質を高めていけるだろうか？」という問いが、キャリアステージにおける自身の目標を設定するときや、今後、目指すべき資質を明らかにするとき、役に立つことを目的として、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を簡単な操作で自己評価するとともに、視覚化できるようにしたシステムが「T-TRASTE」です。

また、研修の振り返りや記録を行うことができ、研修の学びを実感することや、研修の記録を積み上げていくことで、研修の更なる意欲向上につなげることができます。

自己の状況の把握

「かごしま教員育成指標」を視点とした自己評価結果

求められる資質	※		向上を目指す資質	強みとなる資質
	II・発展期 6～10年経験相当	III・充実期 11～20年経験相当		
学習指導力 学習指導の構想・実施	自校の教育目標に基づく適切な指導計画を作成できる。	自校や地域の実態を踏まえた指導計画の改善ができる。	○	
生徒指導力 児童生徒の理解	一人一人の環境を理解し、個に応じた関わりができる。	児童生徒の状況の関係職員間での理解を促進できる。	◎	☆
連携協力力 保護者・地域等との連携	保護者・地域と積極的に関わり、適切な対応ができる。	保護者・地域・関係機関等との連携を築き、適切な対応ができる。	△	▼
課題対応力 様式・少人数指導の実践	少人数指導のよさを生かし、個別指導や様式・少人数での指導ができる。	様式・少人数指導について、同僚への助言ができる。	○	

学習指導・生徒指導・連携協働・課題対応力の自己評価ができ、自身の「強みとなる資質」や「向上を目指す資質」を把握することができます。

研修の成果・課題

研修を受けたことによる学習指導・生徒指導・連携協働・課題対応力の四つの資質それぞれについてグラフで、自分がどのように成長したかを確認することができます。



研修計画の立案

自己評価により明らかになった自身の「強みとなる資質」や「向上を目指す資質」を基に、研修の方向性を把握し、研修計画を立案します。研修計画の立案に当たっては、校内研修や県教員等研修計画を基に、総合教育センターにおける必修研修、短期研修講座等の校外研修を活用します。

短期研修講座のポスター等には、研修の成果が期待される資質が示されているので、資質を高める研修を選択する際の参考にすることができます。



ACTION PLAN



教師の (Teacher's) 研修の (Training) 歩み (Steps)

CHECK DO

研修の実践・記録

研修会、講演会等への参加により、自己研鑽努めるとともに、その内容を記録します。研修の振り返りや記録を行うことで、研修の学びを実感したり、記録を積み上げていくことで、研修意欲の向上につなげたりできます。

研修入力

研修実施日 ※ 研修の実施日(期間)をリストから選択してください。
2022 年 8 月 1 日 ～ 2022 年 8 月 5 日

研修名 ※ 研修名を入力してください。
VPO-アップ研修(中堅教諭等資質向上研修)

区分 ※ 主催者名などをリストから選択するか、必要に応じて自分で分かりやすい区分名を直接入力してください。
県総合教育センター

自分の資質向上を図るPDCAサイクルの中心となるツールとして役に立つことができます。

T-TRASTEの使い方

自らの目標を設定し、主体的に学校内におけるOJTや学校外での研修に取組む等ためには、自身の資質の状況や研修履歴を正確に把握する必要があります。そのために「T-TRASTE」(履歴ファイル)を活用して研修しましょう。



操作マニュアル動画

研修前

A 自己の状況の把握

○ 事例: 発展期の教員(臨時的任用教諭を3年経験、採用4年目の7年経験相当の教員)

T-TRASTEを活用し、「学習指導力」、「生徒指導力」、「連携協働力」、「課題対応力」のそれぞれに求められる資質ごとに自己評価をすると、右のような段階になりました。

この先生の場合は、「生徒指導力」の「児童生徒の理解」が強みとなる資質であり、更に伸ばしていくことが大切です。また、「学習指導力」の「学習指導の展開」については、更なる向上を目指す資質であることが分かります。

		II・発展期(6~10年経験相当)				研修履歴	研修形態
資質	項目	自己評価	研修履歴	研修形態	研修履歴	研修形態	
学習指導の展開	学習指導の展開	○	○	○	○	○	
	学習指導の展開	○	○	○	○	○	
児童生徒の理解	児童生徒の理解	○	○	○	○	○	
	児童生徒の理解	○	○	○	○	○	

P 計画の立案

自己評価を行い、自身の資質を把握することにより、今後の研修計画を立案できるようになります。上記の例では、自分の強みである「生徒指導力」の研修を活用することで、自らの強みを更に伸ばしていくことが考えられます。また、「学習指導力」の更なる資質向上のために、確かな学力の定着を図る「短期研修講座等」を活用することが考えられます。

総合教育センターでは、受講者が自らの資質を伸ばすためには、どの研修を受講すればよいか分かりやすいように、悉皆研修の実施要項や短期研修講座のポスター等に、対象キャリアステージと「求められる資質(向上を目指す資質)」を明示しています。研修を選択する際の参考にしてください。

研修

D 実践・記録

自己評価を踏まえ、自らの目標を設定し、研修に参加する。研修は、「研修等記録」(履歴ファイル)に保存されます。また、研修履歴は、履歴ファイルに保存されます。また、研修履歴は、履歴ファイルに保存されます。また、研修履歴は、履歴ファイルに保存されます。

研修後

C 成果・課題

研修後に、「研修受講後の資質の状況」の「高まったと思われる資質」をチェックすることにより、グラフ化されます。そのことにより、自分がどのように成長したと感じているのかを確認することができます。例えば、「これまでの研修で、どの資質が伸びたのだろうか?」とか、「今年の校内研修では、どのような資質が伸びたのだろうか?」といった確認を行うことができます。

このように、研修結果と事前の自己評価とを照らし合わせて振り返ることによって、自身の資質向上に向けた取組の成果と今後の課題を確認し、次の自己評価につなぐことで資質の向上が図られます。

この「T-TRASTE」(研修履歴ファイル)を活用することで、教員一人一人が自らの資質の状況を自己評価することができます。その評価を基に資質向上に向けた研修計画を立案し、それに沿って実施した研修を履歴として残すことで、取組の成果と課題を明確にし、更なる資質向上を図っていくPDCAサイクルが確立されることとなります。

県域アカウントを利用して「T-TRASTE」のデータをクラウドに保存しましょう。

「Microsoft 365」、「Google Workspace」のいずれかに「○○○○@kago.ed.jp」で「サインイン」、「ログイン」することで、「One Drive」、「Googleドライブ」を使用することができます。

記録した「T-TRASTE」のデータをクラウド上に保存しておくと、どの端末からでも活用できるとともに、異動先の学校においても引き継ぐことができます。